

地域の力を活かし、安全・安心を守るプログラム

【安全・安心】

防災都市江東を目指します

民間建築物の耐震化を促進し、高層住宅の防災対策の強化と、子ども、高齢者の災害・緊急時に対する意識啓発を図り、区民の備えの強化を推進します。

防災基金の平成23年度末現在額を過去最大規模の52億円とし、防災施策の充実を図り、区民の安全・安心を守ります。

プログラム 1

民間建築物の耐震化を促進します

都が指定した特定緊急輸送道路沿道建築物及び都指定以外の南北方向の都道などの緊急輸送道路沿道建築物の耐震化助成を拡充します。

さらに、戸建て住宅について、非木造の戸建て住宅を新たに助成の対象とします。

プログラム 2

高層住宅の防災対策強化・子どもの防災啓発の実施

震災時活動マニュアル策定の手引きを作成し配付することで、高層住宅住民の災害時のマニュアルづくりをサポートします。

また、子ども向け防災啓発パンフレットを作成し、配布することで、小学生の防災に関する基礎的知識や心構えの習得を目指します。

高齢者の緊急時に役立つガイドブックを配布

高齢者の災害や急病などの緊急時に役立つ情報を記載したガイドブックを作成・配布することで、初期対応や予防法を周知し、安心した生活を送れるよう支援します。



交流施設での読み聞かせの様子

【子育て・教育】

子育て・教育環境を整備します

認可保育所・認証保育所を積極的に整備し、待機児童の解消を目指します。
児童・生徒の学力・体力の向上のため、「こうとう学びスタンダード」(指導目標)を策定します。また、若手教員の育成のため、大学との連携による研修を推進します。

プログラム 3

認可保育所1園・認証保育所10園を整備

公設民営認可保育所1園(定員100人)及び認証保育所10園(定員308人)を整備し、さらに、認可保育所2園で29人の定員増を図ります。これにより、437人の定員増を図ります。

私立保育所1園・公設民営保育所1園・認証保育所4園が開園

平成24年中に開設予定の私立保育所1園(定員80人)公設民営保育所1園(定員100人)認証保育所4園(定員177人)に対して、運営費の補助を行います。

プログラム 4

「こうとう学びスタンダード」「授業改善支援チーム」始動

こどもたちの生活習慣や学習規律の基礎、教科などの基本的事柄をまとめた「こうとう学びスタンダード」(指導目標)を策定するとともに、若手教員の育成を目指し、大学との連携による「授業改善支援チーム」を定期的に小・中学校へ派遣します。

【健康・生き生き】

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備します

高齢者が住み慣れた地域で、必要な施設サービスが受けられる環境を整備します。

プログラム 5

旧第三大島小学校跡地の一体整備が始動

旧第三大島小学校跡地に、特別養護老人ホームや区内初の介護専用型ケアハウスを併設した高齢者施設を整備するとともに、隣接して都市計画公園を整備します。

地域密着型介護施設を開設

新砂3丁目に区内初の認可保育所と地域密着型介護施設(認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設及び、緊急ショートステイ)の合築施設が完成し、開設します。

【まちづくり】

開発の進む南部地域に、快適な環境を確保します

新市場整備予定地を含む豊洲埠頭では、「豊洲グリーン・エコアイランド構想」の実現に向けた具体的施策の検討を行うとともに、大規模公園等の整備について、新しい公園運営のあり方を調査・検討します。

南部地域の急激な人口増に対応し、区民の身近なサービスを提供する施設として(仮称)シビックセンターを整備します。また、豊洲地区の新たな水辺スポットとして、全長1,200mの散歩道が豊洲運河に完成します。

プログラム 6

臨海部に「コミュニティサイクル」を導入

「豊洲グリーン・エコアイランド構想」の実現に向けた検討を行うとともに、その具体的な取り組みの一つとして、『コミュニティサイクル』の導入に向けた、実証実験の実施や、その効果の検証等を行います。

PPPによる新しい公園管理運営のあり方を調査・検討

豊洲埠頭の大規模公園等の整備(約21ヘクタール)に伴い、官民が連携して公共サービスの提供を行うPPPによる、新しい公園管理運営のあり方を調査・検討します。

(仮称)シビックセンター工事着工へ

豊洲文化センター・図書館の改築と合わせ、豊洲駅前に身近な区民サービスを提供する複合施設「(仮称)シビックセンター」の整備に向けて、工事着工します。

全長1,200mの散歩道が豊洲運河に完成

朝風橋下の横断橋整備により、豊洲運河沿いに水辺を身近に感じる全長1,200mの「潮風の散歩道」が完成します。



【スポーツ・観光】

「水彩都市・江東」の魅力を広く全国にアピールします

「水彩都市・江東」の魅力を広く全国にアピールするため、23区初！こどもたちのカヌー大会を開催します。また、水陸両用バスや和船、カヌーなどの多様な水辺利用の拠点となる「川の駅」を旧中川河川敷に整備します。

(仮称)江東区観光協会を設立し、各種観光事業を実施するとともに、東京スカイツリーから区内に誘客するための観光ガイドマップを制作します。

プログラム 7

23区初！こどもたちのカヌー大会を実施

旧中川、小名木川などを会場に、24年9月開催を予定。区内の小学生60～70人を対象に、初心者のかどもたちでも参加できるように、事前講習会も実施します。

プログラム 8

「川の駅」による水辺のにぎわいづくり

旧中川河川敷に、水陸両用バスや和船、カヌーなどの拠点となる川の駅が24年秋に完成予定。観光交流ネットワーク、レクリエーション、防災拠点などの機能を創出します。また、スカイツリーから亀戸、川の駅を巡る水陸両用バスのコースを検討します。

プログラム 9

(仮称)江東区観光協会を設立

区内で観光活動に携わっている各団体の活動を支援し、連携する全区的な観光推進組織を設立し、各種観光PR、文化観光ガイド、フィルムコミッション、外国人観光客の誘致などの事業を行い、区の魅力を全国に発信します。

スカイツリーからの誘客でにぎわいづくり

東京スカイツリーを訪れる観光客を区内に集客するため、都バスの一乗車券を利用して、東京スカイツリーから区内を観光する、回遊性のある区内観光情報をまとめた、観光ガイドマップを発行します。

【産業・コミュニティ】

区内に避難している被災者を支援します

東日本大震災で区内に避難している被災者が安心して過ごせるよう支援します。

プログラム 10

区内避難者への支援を継続実施

避難者のコミュニティの形成を手伝い、孤立化を防ぎ、心身の健康を支えるため、交流支援、健康相談等を行います。

地域イベントに避難者を招待

避難者を江東区町会連合会などの地域団体と連携して、「江東花火大会」などのイベントへ招待することで、江東区に愛着を持ってもらうとともに本区におけるコミュニティを一層推進します。